

私たちは作品に解釈の余地を与え、感性を自由に活用してもらうことが広場の活性化に繋がるのではないかと考えた。
 人の数だけ異なる使い方ができる。そういった可能性が自由に発信していくのではないだろうか。
 「プロジェクト」として、自由に配置してあるオブジェクトとしての役割が期待されていることから、初めて訪れた人でも自由に遊べることを期待する。

【諸元】

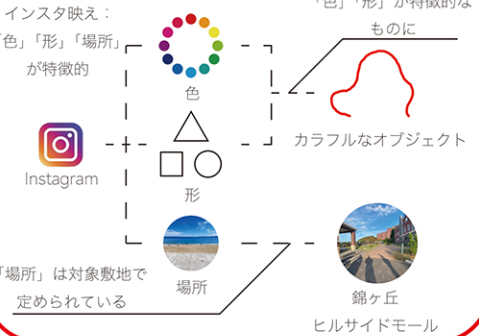
所在地：宮城県仙台市青葉区
 錦ヶ丘1-3-1
 (錦ヶ丘ヒルサイドモール)
 主要用途：広場、東屋
 敷地面積：約1263m²
 構造詳細：有彩色のオブジェクト
 (パイプモジュールφ200
 鋼構造、杭・基礎 直接基礎)
 東屋(鉄骨フレーム1800m³ 鉄骨造)
 屋根(膜構造)
 コンクリートベース(コンクリート造)

ココカラ

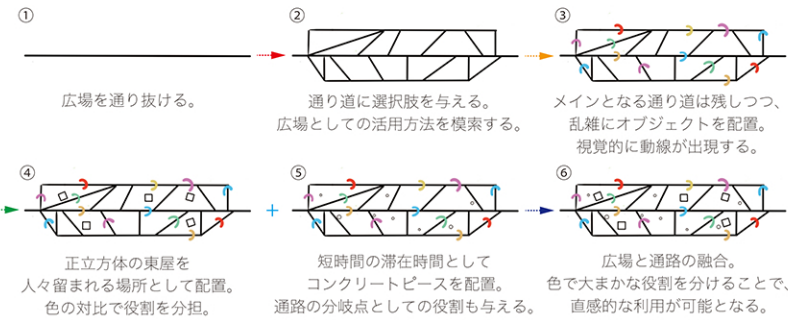
～感性の箱庭～



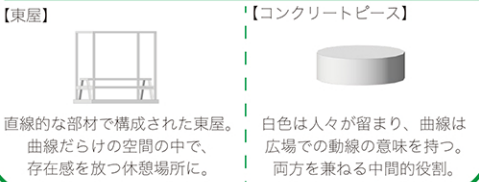
01. インスタ映えから連想される要素



02. 通路∩広場の可能性



03. 無彩色と空間的機能



04. 個人で解釈の異なる「道」

